

～ 流域治水プロジェクトに基づく対策の事例 ～

新潟市	・ ・ ・ ・ ・	P 1	新潟県防災局	・ ・ ・ ・ ・	P 1 2
長岡市	・ ・ ・ ・ ・	P 2	新潟県農林水産部	・ ・ ・ ・ ・	P 1 3
三条市	・ ・ ・ ・ ・	P 4	新潟県農地部	・ ・ ・ ・ ・	P 1 4
加茂市	・ ・ ・ ・ ・	P 5	新潟県土木部	・ ・ ・ ・ ・	P 1 5
見附市	・ ・ ・ ・ ・	P 7	北陸農政局	・ ・ ・ ・ ・	P 1 9
燕市	・ ・ ・ ・ ・	P 8	中越森林管理署	・ ・ ・ ・ ・	P 2 1
五泉市	・ ・ ・ ・ ・	P 9	森林整備センター	・ ・ ・ ・ ・	P 2 2
弥彦村	・ ・ ・ ・ ・	P 1 0	新潟地方気象台	・ ・ ・ ・ ・	P 2 3
田上町	・ ・ ・ ・ ・	P 1 1	信濃川下流河川事務所	・ ・ ・ ・ ・	P 2 4

要配慮者利用施設の避難確保計画の作成に向けた講習会

新潟市では、令和5年6月2日に津波災害警戒区域が指定されたことから、新潟地方気象台及び新潟県と連携し、要配慮者利用施設の管理者を対象に講習会を実施した。

避難確保計画の作成の必要性、作成のポイント、作成方法について説明し、計画の作成を促した。

○日 時：令和6年12月2日（月） 13：30 ～ 16：30

○場 所：新潟市役所本館

○参加者：市内の要配慮者利用施設の管理者（津波災害警戒区域内の施設を対象）

○参加施設数：71施設（計画策定対象施設 154施設）



講習会の様子①



講習会の様子②

令和５年度に長岡市は、見附市と「水害時における施設の相互利用に関する協定」を、株式会社ダイナムと「水害時における施設利用に関する協定」を締結。

・各協定概要：水害時に車による一時避難先として下記の駐車場を利用

内容	協定締結先	利用施設名	駐車台数
信濃川水害時に 長岡市民が見附市へ避難	見附市	みつけイングリッシュガーデン駐車場	約１２０台
		見附運動公園駐車場	約４００台
		見附市大平森林公園駐車場	約２００台
		見附市市民野球駐車場	約１００台
	株式会社ダイナム	ダイナム見附店駐車場	約４００台
刈谷田川水害時に 見附市民が長岡市へ避難	見附市	長岡市営スキー場駐車場	約８００台
		長岡市悠久山公園駐車場	約８５０台



長岡市防災訓練（R5. 8月）
長岡市民が見附市へ避難



信濃川浸水想定区域図

○地域の水害リスク及び適切な避難行動の理解促進のため、長岡版マイ・タイムライン「わが家の防災タイムライン」を作成

○市立小中学校に配布後、教材の授業相談や講師派遣を実施し活用を支援

【課題・目的】

- ・令和元年東日本台風（台風第19号）で地域の水害リスクや適切な避難行動の周知の必要性
- ・子どもたちを起点とし、各家庭での避難行動計画の策定を促進する

【わが家の防災タイムライン作成】

- ・「信濃川早期警戒情報」や「長岡方式の避難行動」を取り入れ、市洪水ハザードマップと合わせて学習できる内容に
- ・学習段階に応じ「小学生4～6年生用」と「中学生～大人用」の2種類を作成
- ・授業でのシート作成を補助する参考資料を作成

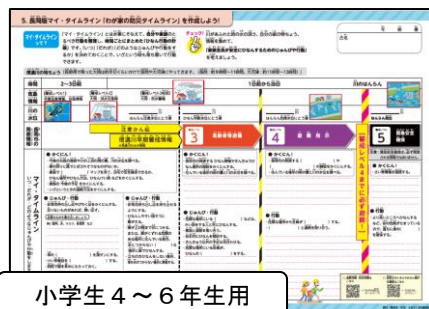
【学校等での活用】

R2年度から小中学校で講座を実施

R5：小学校5校、中学校1校

R6：小学校2校、中学校3校

その他、町内会・自主防災会などに対しても出前講座などを通じ活用を促進



小学生4～6年生用



中学生～大人用

「わが家の防災タイムライン」作成講座の様子





○三条市の人口

	R5.11月末時点	R6.11月末時点
人口	92,507人	91,287人
うち外国籍住民	762人	860人



- ・今後も外国籍住民の数及び割合は増加していく見込み
- ・インバウンド需要の回復により、外国人観光客数も増加



防災情報の外国語対応が必要

リーフレット（紙＋電子）



ガイドブックの概要をまとめたリーフレットを対象世帯に配布し、電子版のガイドブック（市ホームページ）に誘導

外国人就労者がいる企業や外国人が利用する可能性のある市内ホテル等にも配布

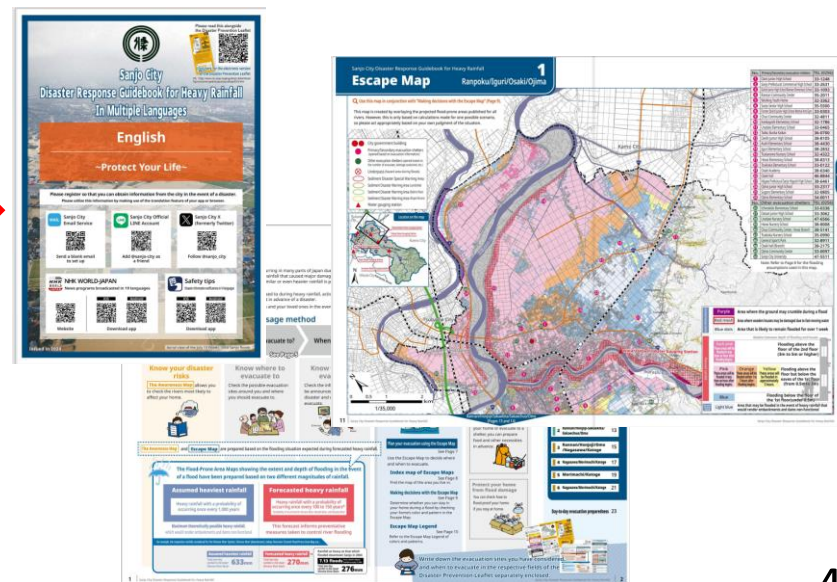
○三条市在住の国籍別人口（R6.11月末時点）

国籍	人口	市内の外国籍住民全体における割合
ベトナム	237	27.6%
フィリピン	182	21.2%
中国	170	19.8%
その他（29か国）	271	31.5%



人口の多い3か国語及び汎用性の高い英語版を作成

ガイドブック（電子）



加茂市 総合防災訓練・防災フェアの実施

令和6年9月29日（日）

目 的

- 防災意識の啓発
- 防災活動の円滑化
- 防災情報の周知

訓練内容

- 情報伝達訓練
- 住民避難訓練
- 避難行動要支援者支援訓練
- 避難所開設・運営訓練
- 防災講話
- 防災フェア

参加機関

- 信濃川下流河川事務所
- 陸上自衛隊第30普通科連隊
- 加茂警察署
- 東北電力ネットワーク（株）
- 東日本電信電話（株）
- 加茂市社会福祉協議会
- 加茂市建設業協会
- 加茂市ボランティア協議会
- 加茂市消防団
- 市内自主防災組織・自治会
など



加茂市 総合防災訓練・防災フェアの実施

令和6年9月29日（日）

情報伝達訓練

<想定>

市内全域で土砂災害・河川の氾濫の危険性が高まったため、市内全域に避難情報を発令

<市民への情報伝達方法>

かも防災・行政ナビ（アプリ）、加茂市防災・市民情報配信サービス（メール、LINE）、エリアメール

住民避難訓練

避難行動要支援者支援訓練

地域住民及び自主防災組織・自治会としての避難行動を確認する。避難行動要支援者を搬送する方法を検証する

避難場所：市指定避難場所、自主防災組織・自治会で決めた避難場所または自宅の2階

要支援者の搬送：リヤカー、担架、車いすにより避難行動要支援者を搬送する



避難所開設・運営訓練

避難所運営職員（市職員）：避難所開設の要領を確認する

避難者：避難所の受付、物資搬入の手伝いなどを通じて、住民が避難所運営に携わる気風を醸成する

避難所における段ボールベッドの設営訓練

防災講話

演題：「新潟・福島豪雨水害と防災について」

講師：信濃川下流河川事務所

三条出張所長

会場：須田小学校

参加者：市民25名

全市一斉総合防災訓練の充実化

～誰一人取り残さないまちを目指して～

資料6

新潟県見附市



【訓練の概要】

1. 開催日時

令和6年6月23日(日) ※水害や土砂災害を想定

2. 訓練参加者

約6,400人

3. 訓練で工夫した点

- ・在留外国人を対象とした避難訓練
- ・ペット同行避難訓練
- ・土砂災害警戒区域での要支援者避難訓練

4. 訓練により判明した課題

- ・避難所の案内や備蓄品等に関する外国語表記の不足
- ・地域の形状に合わせた避難の在り方



外国人技能実習生による避難所確認



公民館の車庫棟にペット避難



消防団による救急講習



要支援者を避難所へ誘導



要配慮者利用施設の避難確保計画の作成支援講習会を実施

資料 6

燕市

燕市は新潟県と連携して、要配慮者利用施設の管理者に対して、避難確保計画の作成の必要性、作成のポイント、作成方法について支援する講習会を実施。

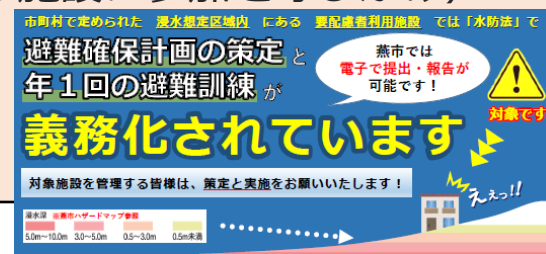
日 時：令和 6 年 6 月 11 日（火） 13:30 から 16:50

場 所：燕市役所 1 階 つばめホール

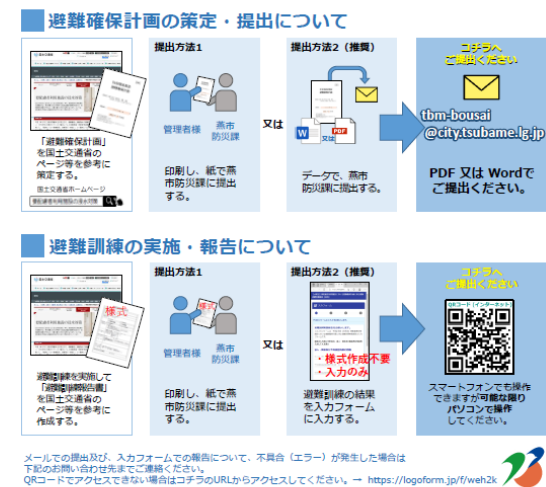
参 加 者：市内の要配慮者利用施設の管理者（計画が未提出の施設に参加を呼びかけ）

参加施設数：37 施設

成 果：参加全施設が避難確保計画を作成し、本市へ提出



講習会の様子



県内で起きた大規模自然災害の節目となることから、新潟・福島豪雨など**過去の被災体験から得られた貴重な教訓を学び**、危機意識を高めるとともに、**必要な対策を考える**機会として地域住民や学校などを対象にパネル展や各種講座に取り組んだ

災害パネル展

県内・市内で起きた災害のパネル展を開催



- 第1回
期間：1/29~2/19
会場：本庁・支所・ホ°庁五泉
- 第2回
参加者 約**700**人
期間：9/29
会場：地域防災訓練会場
- 第3回
来場者 約**5,900**人
期間：11/10
会場：まなぼうさい(ホ°庁五泉)

防災キャラバン出前講座

地域住民や学校などを対象に出前講座を実施

● 講座内容

- ①過去の被災体験
- ②地域の被災リスク
- ③災害への備え・対策
(マイ・タイムライン作成)

● 実績

中学校 3回 135人
町内会 13回 288人

参加者 **423**人

わたしの避難計画 (マイ・タイムライン)



災害の危険性を知り、必要な対策や避難行動を考える機会に！

市民大学講座

“防災”をテーマに大学教授4名による市民大学講座を開催



- 7/28 洪水対策の最先端
- 8/3 明日、火山が噴火したら
- 9/7 地震大国で生きるということ
- 9/22 日常を取り戻すための災害復興学

受講者 **65**人

防災教育や防災知識の普及に関する取組

■取組み概要

地球温暖化の影響による異常気象で、全国各地において頻発、激甚化する風水害に備えるべく、高齢者等の災害時要配慮者の迅速な避難行動の取り組みや地域の防災意識の啓発が喫緊の課題。

■取組み内容

- 「防災訓練」では、自主防災組織が主体となり、中学生と一緒に安否確認訓練、指定避難所での避難者把握訓練、避難者による避難所設営訓練等を実施しました。（安否確認訓練参加者305人、指定避難所避難者145人）
- 「弥彦村防災フェア2024」について、多くの団体や企業の協力のもと、「7.13水害20年プロジェクトパネル」展示や「特殊車両」、「起震車」などの展示・体験を通じて、楽しみながら防災を学びました。（来場者数 約1,000人）

防災訓練（令和6年6月29日）



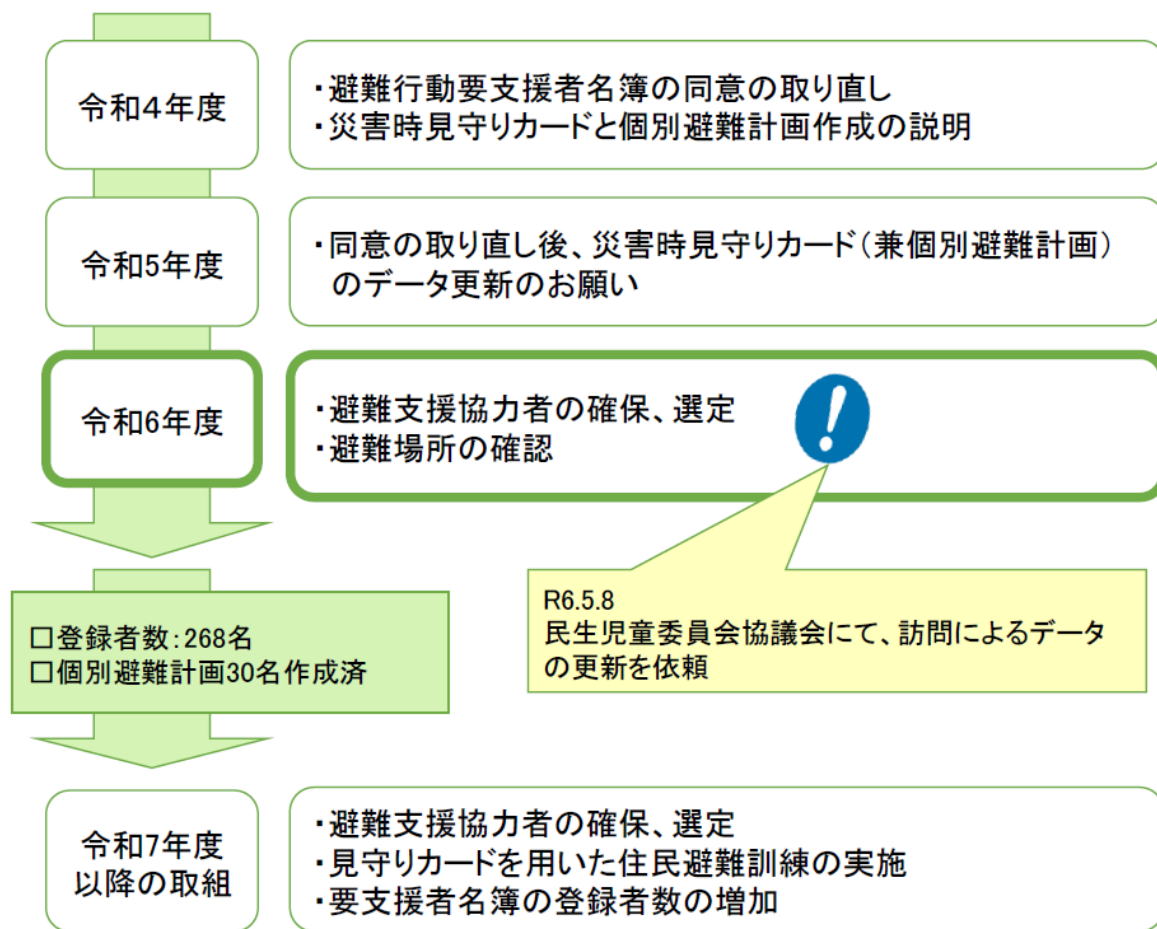
弥彦村防災フェア2024（令和6年10月5日）



◎個別避難計画の作成・支援

【概要及び経過】

令和3年5月の災害対策基本法の改正により、避難行動要支援者の個別避難計画を作成することが市町村の努力義務となったことから、町では令和4年度より福祉部局を中心に、各自主防災組織、地区の民生委員やケアマネージャーなどの協力を得ながら計画作成に向けて着手。令和6年春には1件目となる見守りカード（個別避難計画）が完成し、12月現在で約30件の計画が作成された。



災害時見守りカード（兼 個別避難計画）				
行政区分:	ふりがな	作成年月日:		
基本情報	氏名	住所	連絡先	
	緊急連絡先	自宅	勤務先	
	関係:	携帯	自宅	
	関係:	携帯	自宅	
	関係:	携帯	携帯	
要介	自由記載			
身体状況	介護	氏名	住所	連絡先
	相談	1 関係:	自宅	勤務先
	介護	2 関係:	携帯	自宅
	介護	3 関係:	勤務先	携帯
	介護	3 関係:	自宅	勤務先
避難	避難支援の方法及び留意点など			
災害時関連情報	洪水	避難場所	地震	①最初に避難する場所
	2階		②次に避難する場所	
	雨水	水害・その他	①最初に避難する場所	
	その他		②次に避難する場所	
	防災	【備考】		

【見守りカード（個別避難計画）】

自分で避難することが難しく、避難の支援を必要とする避難行動要支援者一人ひとりの状況に合わせて、災害時に「誰が支援して」、「どこに避難するか」、「避難するときどのような配慮が必要か」などを記載した個別の避難行動計画。

一段加速した防災・減災対策の推進（県民の防災意識・地域防災力の向上） 新潟県防災リーダーの養成について

■ 事業概要

- ・ 地域において、防災情報を正しく理解し、説明できる人材の育成を図るため、地域の防災リーダー等に対して指導・助言を行う「**新潟県防災リーダー**」を養成するとともに、地域における継続的な活動を支援。
- ・ 令和2年度から養成を開始し、**19市町村・230名**を新潟県防災リーダーに認定。

■ 新潟県防災リーダーに期待される役割

- ・ 地域の集まりの場（研修会、会合等）で、防災講座を実施。
- ・ 市町村等が開催する出前講座や防災訓練等において、講師やサポート役として活動。
- ・ リーダー同士の地域を越えた交流により、全県の取組を底上げ。

養成講座

■ 内容

- ・ 「地震から身を守るために」に関する資料を用いて、防災知識を人に伝えるスキル等を研修（ワークショップ、講師体験など）
- ・ 受講者には、認定証を交付

■ 日程・場所

- ・ 令和6年度は県内3会場で開催（長岡市、上越市、新潟市）

■ 対象者

- 下記条件を満たす方のうち、市町村の推薦を受けた方
- ・ 県内に在住、在勤、在学の方
 - ・ 防災に関して一定の知識を有する方（**資格有無は不問**）
 - ・ 受講後、地域の防災活動への指導・助言を積極的に行うことができる方
- **防災士に限らず、自主防災組織のリーダー、消防団員など、地域の防災活動に継続的に取り組む方を広く募集**



市町村への補助

■ 内容

- ・ 市町村が、新潟県防災リーダーを活用して、地域の防災リーダーや一般住民を対象に開催する研修会等を対象に、「新潟県防災リーダー」に支払う謝礼金を補助（限度額：5千円／人・回）

市町村における活用事例

■ 村上市

- ・ 学校、社会福祉協議会、公民館等から依頼のあった防災出前講座に、新潟県防災リーダーを講師として派遣

■ 上越市

- ・ 新潟県防災リーダーを「上越市防災アドバイザー」に委嘱し、町内会や学校等へ出前講座の講師として派遣

■ 柏崎市

- ・ 市内小中学校向け防災教育推進授業（各校への防災授業）で、新潟県防災リーダーを講師として派遣

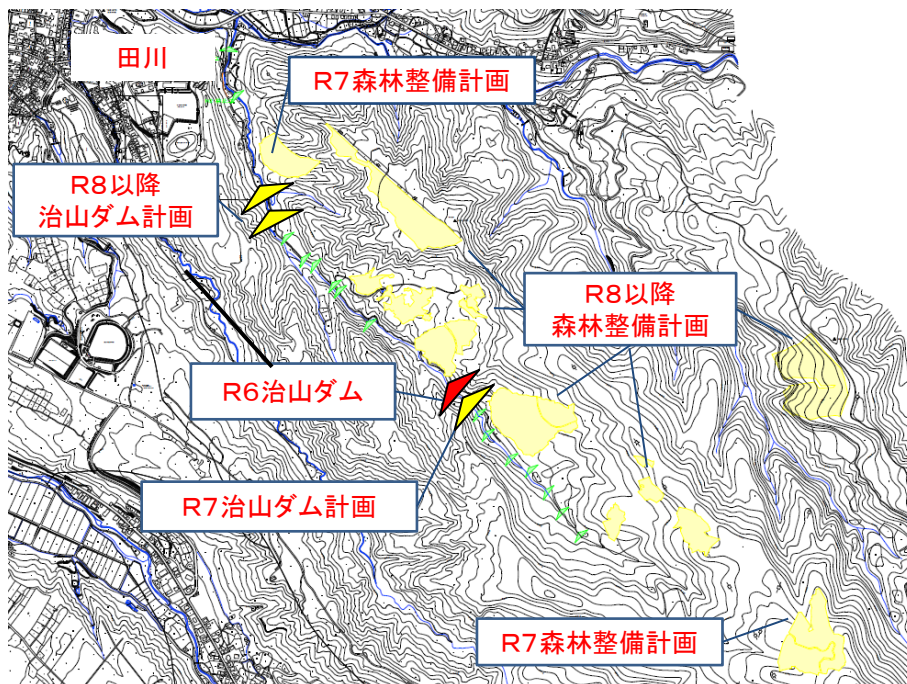
新潟県内の信濃川流域における治山対策・森林整備の取組（新潟県治山課・林政課）

【取組目標】

流域治水プロジェクトと連携し、森林のもつ水源涵養機能を維持・保全するため、治山対策や森林整備等の取組を推進します。

【実施事例】

- ・事業名：漁場保全の森づくり事業（流域保全総合治山）
- ・事業期間：令和6年～9年（4か年）
- ・箇所：十日町市池沢（信濃川支流 田川）
- ・事業目的：水源涵養機能や土砂流出防止機能等の高度発揮
- ・事業内容：治山ダム4基、間伐等による森林整備 26.97ha

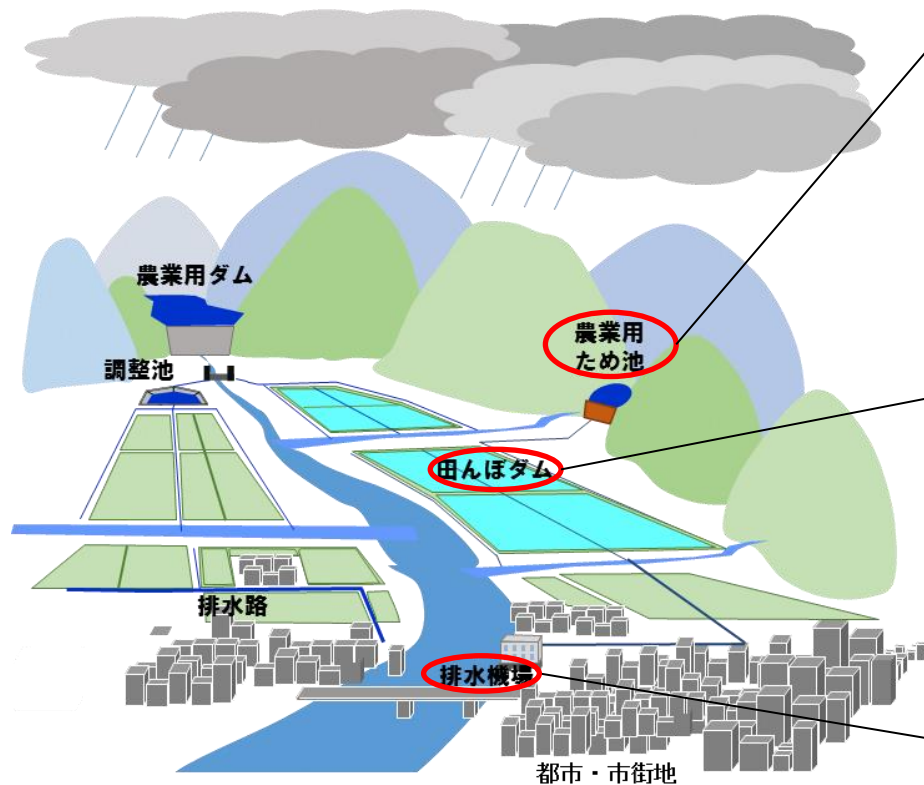


実施平図面



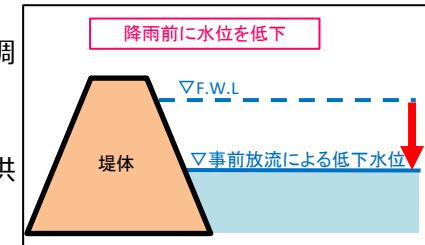
十日町市池沢の治山ダム整備状況(R6)

カテゴリ	田んぼダムの活用、農業用排水施設の更新整備・耐水化、排水機能の配備
内 容	田んぼダムの整備・活用、排水機場等の整備、増設、適正な維持管理
実施主体	新潟県農地部、施設管理者



農業用ため池の活用

- 大雨が予想される際にあらかじめ農業用ため池の水位を下げることによって洪水調節機能を発揮する。
- 農業用水の貯留に影響のない範囲で洪水吐にスリットを設けて貯水位を低下させ洪水調整容量を確保。
- 降雨を農業用ため池に貯留し、下流域の氾濫被害リスクを低減する。



水田の活用（田んぼダム）

- 田んぼダム(排水口への調整管及び調整板等の設置による流出抑制)によって、下流域の洪水被害リスクを低減する。
- 宅地と比較し、水田があることで、約2.5倍の流出量の抑制効果が期待できる。
- 令和6年の本協議会市町村における実績面積は12,253ha（見込み）。



排水施設の活用

- 越後平野では19箇所の主要な農業用排水施設が排水を行っている。
- その結果、越後平野の約6割に相当する約6万haの農地と、約3万8千haの宅地等を水害から守っている。

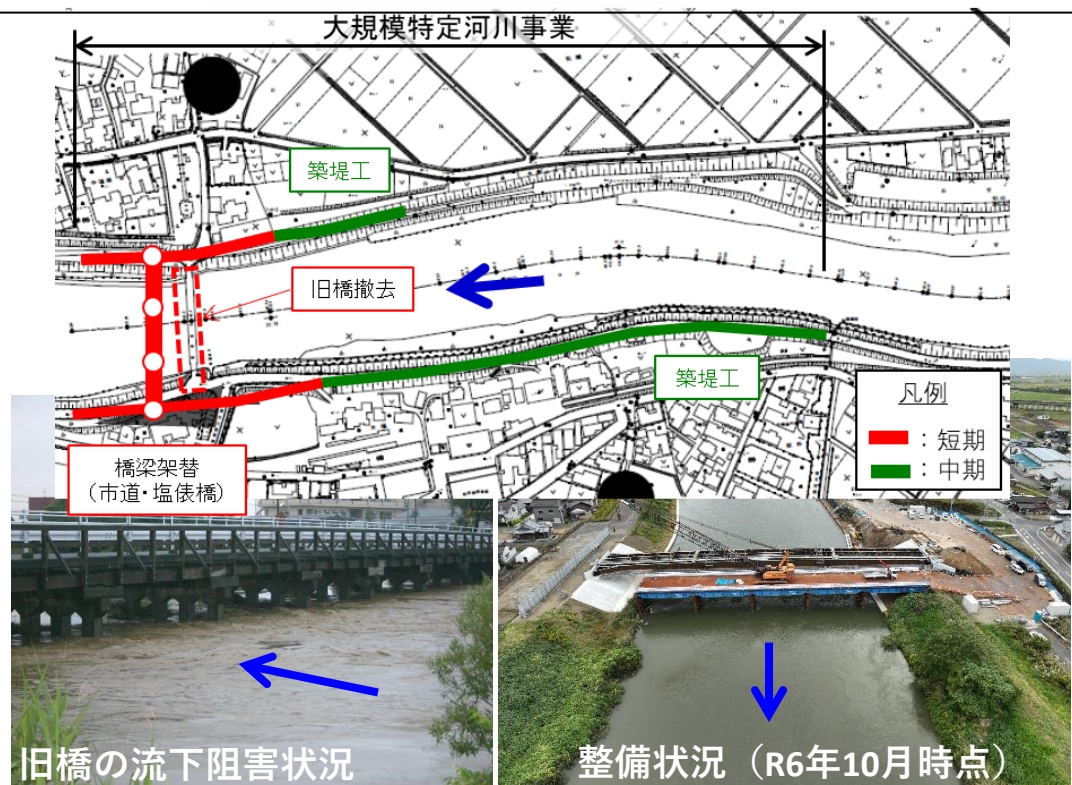


・全ての市町村が、流域治水プロジェクトに農業分野での取り組みを位置づけた

○中ノ口川では、平成23年7月洪水（新潟・福島豪雨）により、橋りょうによる流下阻害も影響し氾濫危険水位を超え、外水位が堤防天端まで迫るとともに、堤防漏水や法崩れが発生し破堤の危険性が高まった。

○計画堤防の整備、橋梁の高さ不足解消による治水安全度向上のため、平成31年に新潟市（道路管理者）と共同施行協定を締結し、連携して橋りょう架替と堤防整備を推進する。

- 目標
河川整備計画に基づく対策事業により、当該区間の家屋浸水を防止し、流域における浸水被害の軽減を図る。
- 当面の取組
大規模特定河川事業により、氾濫のおそれのある区間で計画的・集中的に旧橋撤去・橋りょう整備・築堤事業を推進する。



事業スケジュール

区分	対策工種	工程	
		短期（令和7年度まで）	中・長期
氾濫をできるだけの防ぐ・減らすための対策	橋りょう工	旧橋撤去	R6
		下部工	
		上部工	
	堤防工	護岸工	
		築堤工	

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合があります。

○平成29年7月の梅雨前線豪雨では、信濃川下流域の市町村で土砂災害が頻発した。
○このため、それらを踏まえた土砂災害対策を行い、地域住民の安全・安心を確保する。

■ 目標

砂防堰堤の整備により、土砂・流木の流出を抑制し、確実な土砂災害防止を図る。
地下水の排除等の対策を行うことにより、地すべりの安定化を図り、人家等の安全を確保する。

■ 当面の取組

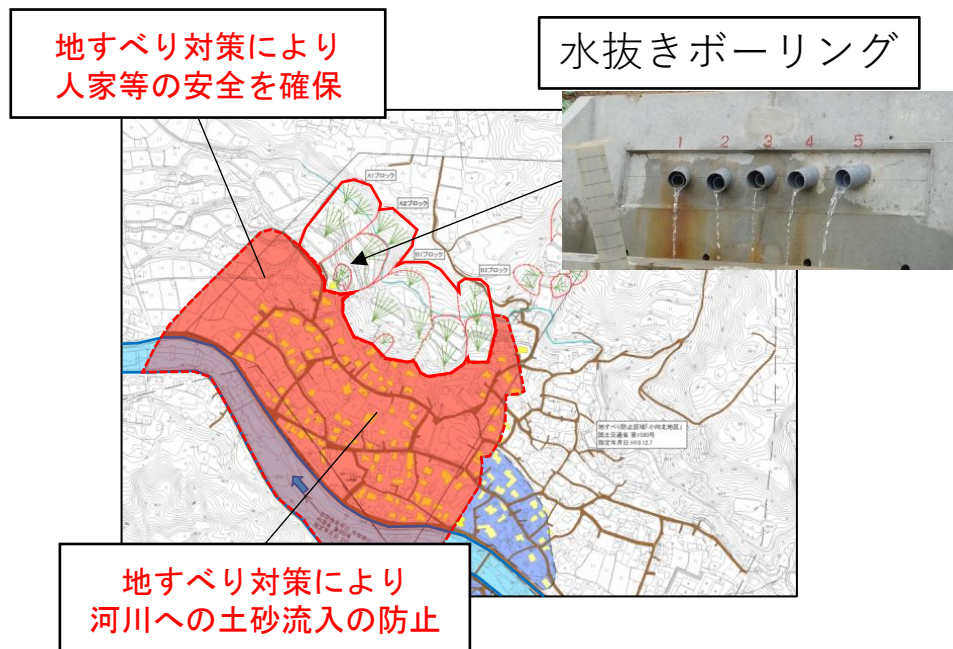
砂防堰堤の整備及び地すべり対策の実施により、土砂災害防止のためのハード対策を引き続き推進する。

● 砂防堰堤の整備 【継続実施】



【沢入沢：三条市牛野尾地内】

● 地すべり対策の実施 【継続実施】



【栃堀地区：長岡市栃堀地内】

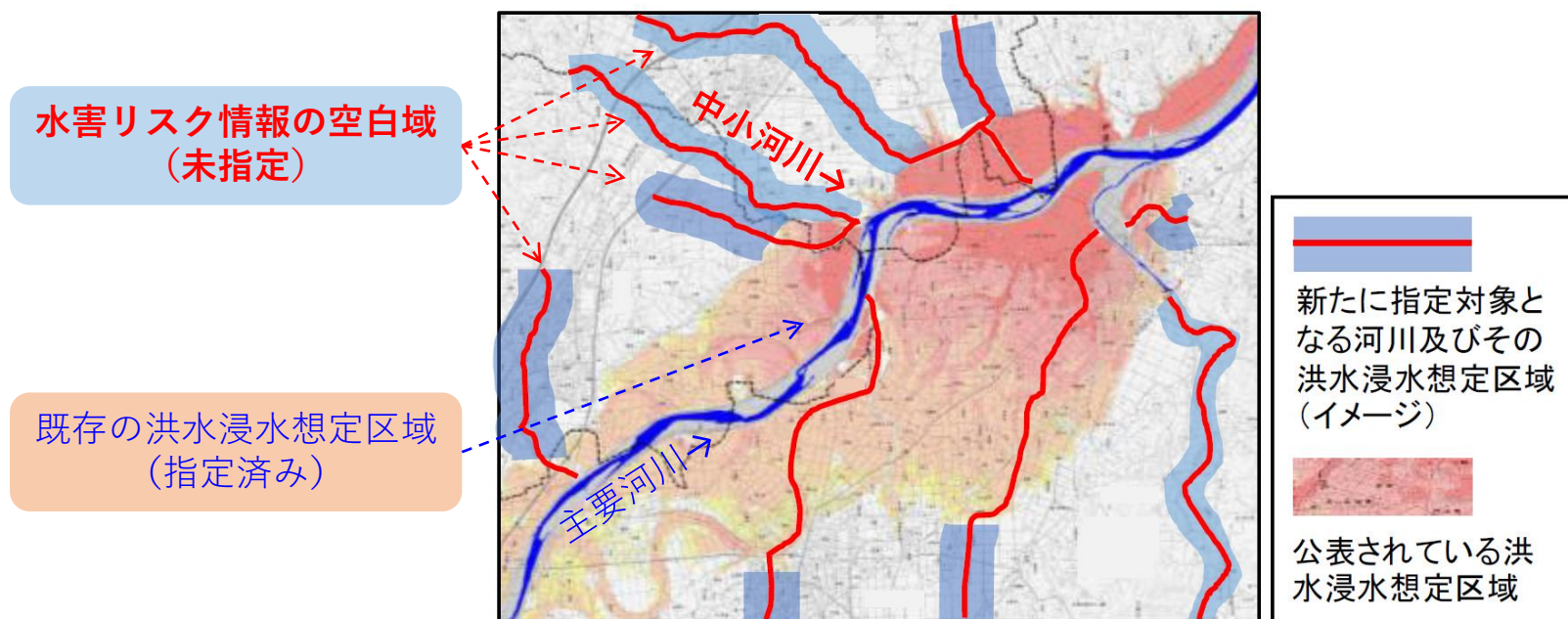
- 令和元年東日本台風では、全国各地で洪水浸水想定区域の指定対象ではない中小河川においても多くの浸水被害が発生した。
- 令和3年の水防法改正により、洪水浸水想定区域の指定対象が「周辺に住宅等の防護対象がある河川」まで拡大された。

■目標

新たに指定対象となった中小河川について、水害リスク情報の空白域を解消し、住民等の円滑かつ迅速な避難の確保を図る。

■当面の取組み

令和7年度までに、県が管理する対象河川の洪水浸水想定区域図を作成・公表する。



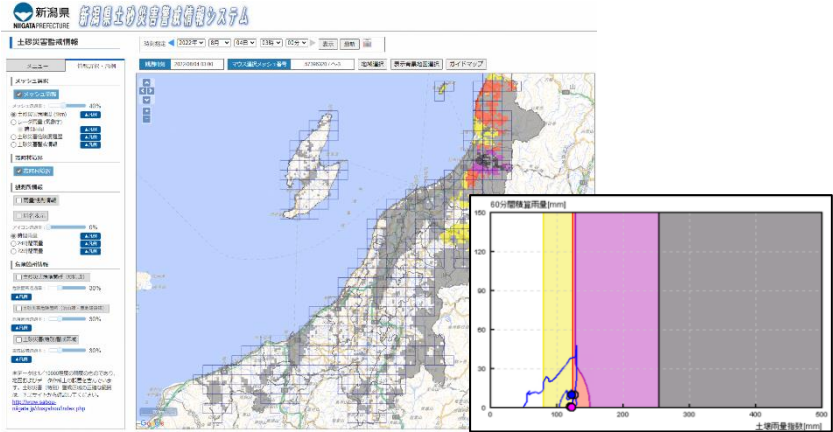
【新たな指定対象河川と浸水想定区域のイメージ】

○土砂災害防止法の改正により、土砂災害に関する情報の精度や発信を継続的に改善することとされた。
※土砂災害に関する情報：土砂災害警戒情報の伝達、土砂災害警戒区域等の指定状況

- 目標
土砂災害に関する情報の充実により、逃げ遅れによる人的被害の発生を防止する。
- 当面の取組
新潟県土砂災害警戒情報システムによる土砂災害危険度情報の提供や、土砂災害警戒区域の標識設置など、ソフト対策を推進する。

●土砂災害危険度情報の提供【継続実施】

- ①新潟県土砂災害警戒情報システムによる情報提供
- ②大雨警報（土砂災害）及び土砂災害警戒情報発表時に危険度が高まっている地区を該当市町村及び関係機関へ伝達



【新潟県土砂災害警戒情報システム】

●土砂災害警戒区域の認知度向上【継続実施】



【田上町羽生田地内】



カテゴリ	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
内容	排水機場等の整備、増設、適正な維持管理
実施主体	北陸農政局、施設管理者

北陸農政局では、これまで農地等の排水対策のため、排水機場の整備を行ってきました。

排水機場は農地だけでなく、市街地等の湛水の低減にも寄与することから、排水機場の維持管理を適正に行っています。

信濃川下流域内の北陸農政局が整備した排水機場

- ・ 親松排水機場
- ・ 七穂排水機場
- ・ 小新排水機場
- ・ 白根排水機場
- ・ 中部排水機場
- ・ 萱場排水機場
- ・ 大秋排水機場
- ・ 覚路津排水機場
- ・ 刈谷田右岸排水機場
- ・ 曲通排水機場



親松排水機場（新潟市）



刈谷田右岸排水機場（三条市）

カテゴリ	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
内容	排水機場等の整備、増設、適正な維持管理
実施主体	北陸農政局、施設管理者

北陸農政局では、これまで農地等の排水対策のため、排水機場の整備を行ってきました。

排水機場は農地だけでなく、市街地等の湛水の低減にも寄与することから、排水機場の維持管理を適正に行っています。

新川流域内の北陸農政局が整備した排水機場・排水設備

- ・ 新川右岸排水機場
- ・ 新川河口排水機場
- ・ 旧木山排水機場
- ・ 旧広通江排水機場
- ・ 鎧潟排水機場
- ・ 升潟排水機場
- ・ 田潟排水機場
- ・ 御新田放水路制水ゲート
- ・ 早潟排水機場
- ・ 曽根排水機場
- ・ 茨島排水機場
- ・ 番屋排水機場
- ・ 大原排水機場
- ・ 長所排水機場
- ・ 今井排水機場
- ・ 漆山排水機場



旧木山排水機場（新潟市）



新川河口排水機場（新潟市）

■森林の水源涵養機能の維持増進を通じて、良質な水の安定的な供給と国土保全に資するため、ダム上流等の重要な水源地や集落の水源地となっている保安林において、浸透・保全能力の高い森林土壌を有する森林の維持・造成をすることとし、荒廃地や荒廃森林を再生するため、治山事業及び森林整備事業を推進。

○取組の概要

豪雨等により被災した森林の復旧。また、近年顕著化している流木による災害対策の推進及び保安林の管理。

○当面の取り組み

治山えん堤の整備を進め、渓床内に堆積した土砂の流出を軽減。

			R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
五十嵐川上流	治山事業	施設整備					
		森林整備					
		流木対策					



水源林造成事業による森林の整備・保全

- ・ 水源林造成事業は、奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業です。
- ・ 信濃川下流域における水源林造成事業地は、契約面積約450haで内植栽面積約270haです。

目標

- ・ 水源かん養機能(洪水防止、流域貯水、水質浄化)及び山地保全(土砂流出防止、土砂崩壊防止)等の公益機能の増進を図るため、除間伐等による森林整備を実施する。

当面の目標

- ・ 流域内の水源林造成事業地において、森林の状況を調査し、灌木等により植栽木の成長が阻害されている区域について、除間伐を実施する。
- ・ 令和6年度は除伐を12ha実施した。



除伐実施状況



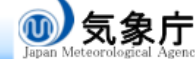
除伐実施状況



除伐実施状況

対策内容	気象情報の充実、予測精度の向上（線状降水帯の予測精度向上等に向けた取り組み強化）
実施主体	新潟県地方気象台

令和6年11月30日時点



令和6年の実績～線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけ～

- 気象庁では、線状降水帯による大雨の可能性がある程度高いことが予想された場合、半日程度前から「線状降水帯」というキーワードを使ってその旨を呼びかけている。
- 線状降水帯の正確な予測は困難だが、予測技術の開発を進め、令和6年5月から府県単位での呼びかけを実施している。
- 線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけを実施したとき、実際に大雨となる可能性が高いことから、**この呼びかけが行われたときには、大雨災害への心構えを一段高めていただくことが重要**である。
- 令和6年における線状降水帯の事例数は、19事例※1（令和6年11月30日時点 地方予報区単位）

※1 線状降水帯の事例の数え方は、線状降水帯の雨域は複数の県にまたがる場合もあるため、令和5年度以前と同様に地方予報区（全国を11ブロックに分けた地域）単位としている。

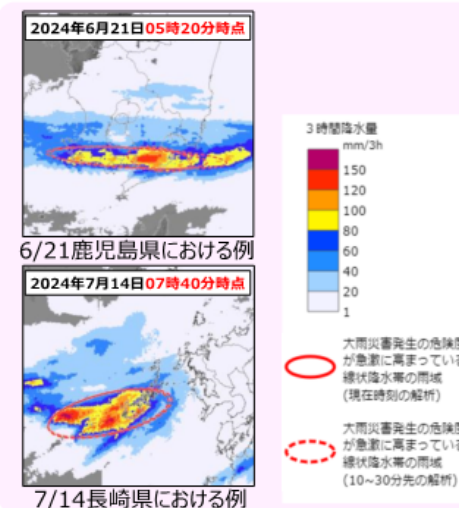
府県単位でのとりまとめ結果	運用開始前の想定 (令和5年のデータから検証)	令和6年 (11月30日時点)
線状降水帯発生への呼びかけ「あり」 のうち 線状降水帯の発生「あり」	25%程度 (4回に1回程度)	適中率（高いほうが良い） 約10% (81回中8回)
線状降水帯の発生「あり」 のうち 線状降水帯発生への呼びかけ「あり」	50%程度 (2回に1回程度)	捕捉率（高いほうが良い） 約38% (21回中8回)

※2 線状降水帯の事例数と、府県単位での線状降水帯の発生「あり」の数は異なる場合がある。

- 線状降水帯発生への呼びかけを行った81回中、線状降水帯の発生「あり」は8回であるが、それ以外にも、

・3時間降水量が100mm以上となったのは27回

あることから、**この呼びかけが行われたときには、大雨災害への心構えを一段高めていただくことが重要**である。



線状降水帯の発生をお知らせする「顕著な大雨に関する気象情報」は、現在、10分先、20分先、30分先のいずれかにおいて、以下の基準をすべて満たす場合に発表します。（令和5年5月25日以降）

- ① 前3時間積算降水量（5kmメッシュ）が100mm以上の分布域の面積が500km²以上
- ② ①の形状が線状（長軸・短軸比2.5以上）
- ③ ①の領域内の前3時間積算降水量最大値が150mm以上
- ④ ①の領域内の土砂キキル（大雨警報（土砂災害）の危険度分布）において土砂災害警戒情報の基準を超過（かつ大雨特別警報の土壌雨量指数基準値への到達割合8割以上）又は洪水キキル（洪水警報の危険度分布）において警戒基準を大きく超過した基準を超過

- 従来、想定最大規模降雨の洪水で想定される浸水深を表示した水害ハザードマップを提供し、洪水時の円滑かつ迅速な避難確保等を促進してきた。
- 今後は、これに加えて、浸水範囲と浸水頻度の関係をわかりやすく図示した「水害リスクマップ(浸水頻度図)」を新たに整備し、水害リスク情報の充実を図り、防災・減災のための土地利用等を促進していく。

■目標

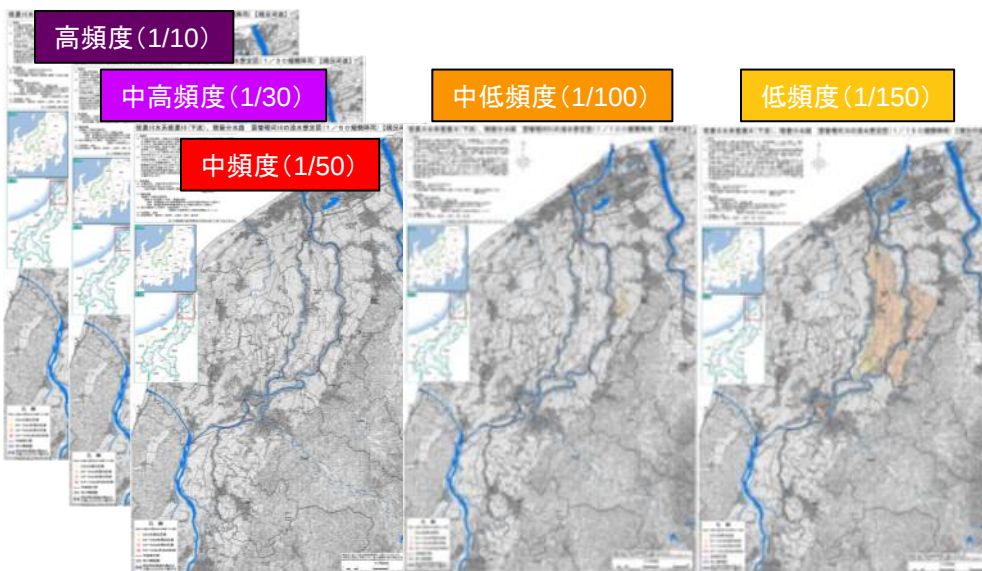
信濃川下流域における外水氾濫及び内水氾濫※を対象とした、「水害リスクマップ」及び「多段階の浸水想定図」を整備する。
※内水氾濫の対象範囲は国管理河川の氾濫域内

■当面の取り組み

国直轄の信濃川下流本川からの外水氾濫を対象とした、水害リスクマップ及び多段階の浸水想定図をR4.12.14に公表をした。
今後は、目標を達成するため、内水氾濫も考慮した水害リスクマップ及び多段階の浸水想定図の整備を進める。

■多段階の浸水想定図

各整備段階において、降雨(流量)規模別に作成した浸水想定図
※整備段階:現況、短期、中期、中長期
※降雨規模別:1/10、1/30、1/50、1/100、1/150、想定最大規模

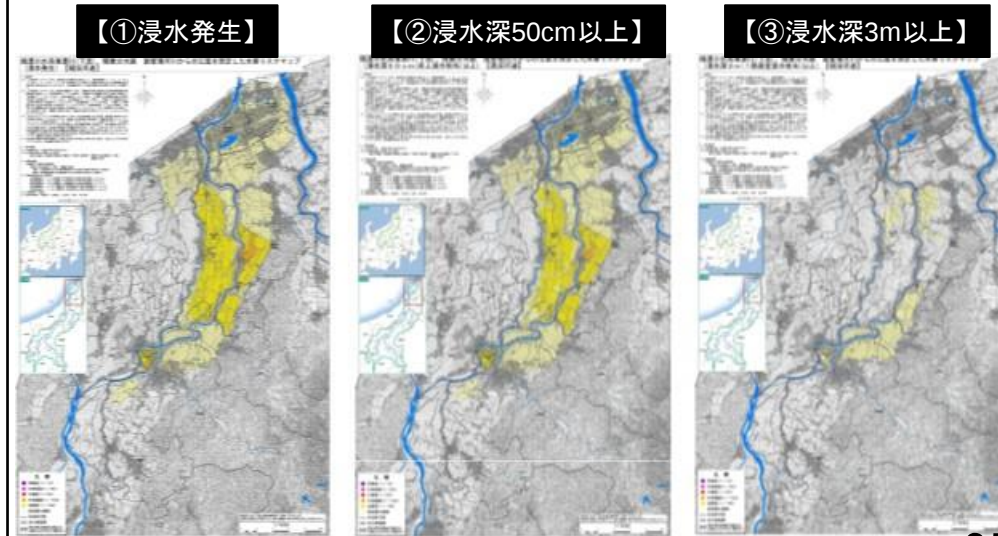


信濃川下流本川の外水氾濫を対象とした多段階の浸水想定図【現況河道】

■水害リスクマップ

浸水深別に、各整備段階において、降雨(流量)規模の浸水想定図を重ねあわせた図

※浸水深別:【①浸水発生】／【②浸水深50cm(床上浸水相当)以上】
／【③浸水深3m(1階居室浸水相当)以上】



信濃川下流本川の外水氾濫を対象とした水害リスクマップ【現況河道】

○災害時の避難確保のための対策の一環として、令和6年11月25日に「新潟市秋葉区マイ・タイムライン作成講習会」を開催。
○新潟市職員及び秋葉区住民が参加し、秋葉区の「水害リスク」と「洪水に際し確認してもらいたい情報」についての講義と、マイ・タイムライン作成をとおして、迅速・円滑な避難行動に資する取組となった。

- 開催日時
・令和6年11月25日(月)13:30～16:00
- 事務局:信濃川下流河川事務所
- 受講者:新潟市職員及び秋葉区住民計28名
- 講習会の目的
・秋葉区の「水害リスク」と「洪水に際し確認してもらいたい情報」を知る
・マイ・タイムラインの考え方を知る+作る
・マイ・タイムラインの作り方を教えられようになる
- 講習会実施内容
1. 前半講座
・本日の目的
・秋葉区の水害リスクを知る
・洪水に際し確認してもらいたい情報[気象]
・洪水に際し確認してもらいたい情報[河川]
2. 後半講座
・マイ・タイムラインの作成
3. マイ・タイムライン作成結果の共有
4. 質疑応答

講習会当日の様子



『マイ・タイムライン』をつくってみよう!!

「大雨が降る」～「川が氾濫」するまでのそなえを
いつから行動するか、書いてみよう!

みんなが考えた「大雨が降る」～「川が氾濫」
するまでのそなえが『マイ・タイムライン』だよ!

新潟市秋葉区 地区 家 マイ・タイムライン
作成年月日 年 月 日

①住んでいる場所の水害危険性チェック

②避難場所の確認

③避難経路の確認

④避難先との確認

⑤避難先への連絡

⑥避難先への避難

⑦避難先への避難

⑧避難先への避難

⑨避難先への避難

⑩避難先への避難

⑪避難先への避難

⑫避難先への避難

⑬避難先への避難

⑭避難先への避難

⑮避難先への避難

⑯避難先への避難

⑰避難先への避難

⑱避難先への避難

⑲避難先への避難

⑳避難先への避難

㉑避難先への避難

㉒避難先への避難

㉓避難先への避難

㉔避難先への避難

㉕避難先への避難

㉖避難先への避難

㉗避難先への避難

㉘避難先への避難

㉙避難先への避難

㉚避難先への避難

㉛避難先への避難

㉜避難先への避難

㉝避難先への避難

㉞避難先への避難

㉟避難先への避難

㊱避難先への避難

㊲避難先への避難

㊳避難先への避難

㊴避難先への避難

㊵避難先への避難

㊶避難先への避難

㊷避難先への避難

㊸避難先への避難

㊹避難先への避難

㊺避難先への避難

㊻避難先への避難

㊼避難先への避難

㊽避難先への避難

㊾避難先への避難

㊿避難先への避難

マイ・タイムライン作成成果
の一例